


 国際ロータリー第 2840 地区 2010 - 2011 年度
会員増強セミナー報告

地区担当副幹事 清水 憲明

6月6日(日)前橋市の前橋ホテルに於いて、福田年度の地区役員・クラブ会長・幹事・会員増強委員長・会長エレクトの総勢 167名が参加し、「会員増強セミナー」が開催されました。

はじめに、福田一良ガバナーエレクトより 会員増強・組織強化の重要性に鑑み、真の会員増強とは何か、魅力あるロータリーを作るためにはどうしたら良いか、次年度の会員増強の方策を考えるための一助となるよう本日のセミナーを役立ててほしいとの挨拶がありました。

横山公一地区研修リーダーからは本日の目的について、会員増強・会員の維持・会員の勧誘などについて、決してあきらめることなく地道な活動を行うことが重要である旨のお話がありました。

その後、国際ロータリー会員組織コーディネーター (RRMC) 杉谷卓紀 (第 2720 地区パストガバナー・玉名 RC) 様より「会員増強とは」と題して 75 分にわたる基調講演をいただきました。会員組織の世界の現状や日本の状況についてのお話から始まり、国際ロータリーの長期計画の 3 本柱である

クラブのサポートと強化

人道的奉仕の重点化と増加

公共イメージと認知度の向上

について詳しい説明があり、奉仕と友情を深める真の親睦の重要性、職業奉仕から始まるロータリーの原点に経ち返り充実した例会や会員の研鑽、新入会員に対するプログラムの充実を行い、魅力あるクラブ作りを行う。会員増強とは良い事をする仲間を増やしてゆくことであり、ロータリーが輝いていけば会員組織が強化され会員増強に繋がる、という杉谷先生のロータリーに対する熱い思いと心からの言葉がセミナー参加者の皆様に伝わったと思います。

その後、竹内嘉一地区研修委員より地区会員増強の方針が発表され、保坂充勇ロータリーの友地区代表委員からロータリーの友からのお知らせがあり弁前のプログラムを終了いたしました。

昼食を挟んで午後のプログラムでは、ガバナー補佐の皆様によりリーダーとさせていただき分科会が行われ、時間を忘れての熱心な討議がなされました。事例発表は分科会毎 2 名、計 16 人の方に、次年度に向けた力強い会員増強の方針について発表いただきました。最後に安藤震太郎ガバナーエレクトによる閉会の挨拶によってセミナーを終了いたしました。





国際ロータリー第 2840 地区 2010 - 2011 年度
会員増強セミナーを終えて

渋川みどりロータリークラブ 田邊 寛治

渋川みどりロータリークラブにおける、本年度の会員増強の成果をご報告申し上げます。
まず、年度当初に地区並びにクラブ方針に則り、クラブ目標を計画いたしました。

会員増強プロジェクト会議（7人）の設置
中期目標として 20Hにむけて 50人体制クラブの確立
本年度 35人から 40人へ 10人増強
各メンバーが 20Hまでにひとり1人の増強

目的は、ロータリークラブを通じて社会奉仕（参加）を共有できる、一人でも多くの仲間をつくることによってよりスムーズなクラブ運営とより効果的な奉仕活動（事業）を遂行する為の物です。本年は新入会員を募る方法として視点を少し変えてみました。

今までの企業規模、社会性から巾を持たせ、真に、この地域や人のために奉仕活動に携わりたい人（奉仕の精神を持ち合わせた人）そして将来性をみて 50才代迄位の方々にアプローチをした結果、今まで 3、4年かけてお話をした人達を中心に 9人増強を計ることが出来ました。今後も今までのロータリークラブの本質と会員資質を下げることなく増強に携わることのもと、数の確保をしていきたいと思ひます。

色々問われる中、時代と社会に合わせた変化も不可欠ですが、良い伝統（厳し、規律）を引き継ぐことは、常に心地よい少しの緊張感を持った中でのロータリークラブ活動が私達に慢心をさせず、足ることを知らしめてくれるのではないのでしょうか？

地域のバランス、人とのコミュニケーションを大切に考え、さらに誇りを持てる、ロータリークラブ、ロータリー活動を目指していきたいと思ひます。

メンバー 1人々が広告塔（人格者）になること、事業を通してクラブの広報が真の会員を維持し、増やしていく一助となると感じております。

今年度の評価は 3カ年にわたる委員会の連携と多くの人々の賜によるものであります。今後とも引き続きご指導ご協力頂きますことをお願い申し上げます。有難うございました。

2010 - 2011 クラブ会員（組織）強化委員長 田邊 寛治
ロータリー情報委員長
米山奨学生カウンセラー



国際ロータリー第 2840地区 2010 - 2011年度
会員増強セミナーを終えて

沼田中央ロータリークラブ 北野 浩司郎

今年度会員増強純増 10名を達成する事が出来ました。どうしてこんなに増員出来たかといしますと、1986年沼田ロータリークラブから別れ、会員数 56名で創立し、最高 79名のクラブに成長致しましたが、バブルがはじけ 44名まで激減し、ようやく 52名まで回復しましたが今年度当初 48名に減少し、またしても 40名代になってしまいました。

当クラブには長期プロジェクト委員会があります。私が委員長で委員は各委員会の委員長になって頂いております。次年度 25周年を迎えるに当たり、式典当日までに創立時の 56名まで増強しようという中期計画を建てました。会員増強委員会だけに任せるだけではなく、長期プロジェクト委員会も一緒にお手伝いをしようという事になりました。各委員会の委員長が委員でありますので、クラブのメンバー全員で増強する仕組が出来上がったわけです。早々と中期計画の目標は達成してしまったので、これからは常時 60名代を目指していきたいと思っております。

本日の基調講演で杉谷卓紀先生のお話の中で、ロータリーには「きびしさ」が必要であるという話を聞き来年度出席率の悪い、いわゆる会費会員には退会勧告をして行こうと思っております。

出席率 50%に満たない会員が在籍していることは財政的には助かいますが、他のメンバーや特に新入会員にとってはマイナスに働くことになると思います。近年会員減少によるロータリーの衰退がうんぬんされておりますが、ルールのがゆるめ過ぎ、今こそロータリーの厳しさが必要な時ではないでしょうか？

2010 - 2011年度 長期プロジェクト委員長

北野 浩司郎

